

人間関係調整とメンタルヘルスの 良きアドバイザー

[評者] 篠原弘子 川崎市立川崎病院副院長・看護部長

師長・主任のこんな時どうする!?

武藤清栄, 村上章子, 鶴谷有子 著

A5 判, 164 ページ
定価 2100 円 (本体 2000 円 + 税 5 %)
医学書院 TEL. 03-3817-5657



「ああ、あるあるこんなこと」「いるいるこういう人」と、看護職なら誰もが思い当たる、人間関係に関わる 27 の場面や事例。職場の人間関係とメンタルヘルスの問題には密接な関係があることはいうまでもない。メンタルヘルスを脅かす要因のなかで、最も大きなものが人間関係であるともいわれ、これは医療の場に限らず広く社会的な問題でもある。

また、医療はチームワークで行なわれるものであるだけに、安全で効率的で良質な医療を提供するためには、医療者間の人間関係が円滑で良好であることが求められる。

■Q & A 形式で、実感的、共感的に読める

本書は看護現場での身近な、そして切実な問題でもある人間関係に関わる事例を取り上げ、そのなかに潜む本質的な問題をわかりやすく解説するとともに、ていねいに問題解決へと導いてくれる。

パート 1 は、師長や主任からみた「問題の部下」への対応、パート 2 は、「年上部下」や同僚としての「問題の師長・主任や医師」への対応、パート 3 は、他者との関係における「自分自身」の問題への対応、パート 4 は、「職場環境」の問題への対応、といった多様な事例を、問題となる対象によって 4 つのカテゴリーに整理している。そして、事例ごとにそのなかで求められる問題のとらえ方や問題解決への考え方、対応策が、Q & A 形式で解説されており、実感的、共感的に読み進むことができる。

また本書の特徴に、その内容に関し著者らの専門性が存分に活かされ、心理学やカウンセリング

の理論を根拠に、事例に沿った考察がされている点がある。さらに、それらへの対応や問題解決には、コーチング、カウンセリング、アサーションのポイント、コミュニケーションにおけるプラスのストロークなど、各事例に対応した具体的で実践的なアプローチが提示されていて、われわれにとって良きアドバイザーかつガイド役となる書である。

■人間関係の問題解決に強い味方

掲載されている事例はどれも、身近でよくある、一見些細なことにもみえる問題である。それだけに、実際に直面した当事者にとっては、かえって誰にも相談できず、問題解決の糸口がみつけれないまま、次第に大きなストレスとして自分のなかに蓄積してしまうといったことも多いのではないだろうか。

師長や主任に求められる看護管理者としてのマネジメント能力のなかでも、人間関係調整能力は特に重要である。日常の職場において、人間関係に関わるさまざまな問題に直面することは避けられず、時には行き詰まりを感じることも多い。そのようなとき、本書は私たちに問題解決の糸口や方向性を示唆してくれる強い味方になってくれる本でもある。そして、仕事へのやる気をなくしてしまいそうな疲れた心を、「そうか、その方向でもう一度やってみよう」とリフレッシュさせてくれる。

日々人間関係調整に苦勞し悩んでいる師長や主任はもちろん、職場の人間関係に悩む多くの人にも、ぜひおすすめしたい一冊である。